

タッチラグビー



タッチラグビーは、もともとラグビー選手がウォーミングアップとして行っていたものを、1つの独立したスポーツとして

発達させたものです。発祥は1960年代、オーストラリア・ニューサウスウェールズ州と推測されます。

タッチラグビーは、タックルやスクラム、ラックのない7人制のラグビーです。1チーム最大14名で構成され、2チームによってプレーが行われます。フィールド上でプレーできる人数は7名ずつ。必要に応じて随時選手交代が可能です。

試合開始前に先攻後攻を決め、競技場の中央でタップ(ボールを足ではじくこと)して開始となります。ボールを相手側スコアライン上または、越えたところにグランディング(ボールを地面につけること)するか、ボールを持って相手スコアラインを横切るかして得点することができます。得点後は、得点しなかったチームが競技場中央でタップをして再開となります。

基本的なルールとして、タッチされたら攻撃を止めなければならず、身体接触しないのでけがの心配が少なくなります。ボールの争奪がない代わりに6回のタッチで攻守交替となります。後方にパスしながら前進するというラグビー独特のルールが、多くのスポーツにはないおもしろみを生み出しています。

参 考 ● 『タッチラグビーハンドブック』

(公財)日本レクリエーション協会発行

連絡先 ● 一般財団法人ジャパンタッチ協会事務局

〒162-0812 東京都新宿区西五軒町 7-12-101

電 話 ● 03-3513-5265 E-mail ● jta@jasmine.ocn.ne.jp